

学年	中学3年	教科	美術	科目	美術	単位数	1
教科書名	美術2・3 探求と継承（開隆堂）			副教材名	画材など		
クラス・コース	中高一貫			担当者名	若山礼子、上笹真里奈		

#### I. 目標

- ・ 図画工作で培われた感性や表現・鑑賞における基礎的な能力などの学習経験を生かし、美術での資質や能力向上と豊かな人間性の形成を図る。また、ものを作る過程で教材や道具を安全、大切に扱うことを指導し、マナーやルールを守ることを身につけさせる。

#### II. 授業のねらい

- ・ 身近な人をスケッチしたり、身の回りの動植物を表現したりする題材から「身近な人、ものへの愛着」や「生命の尊さ」を学ぶ。「色の性質」や色彩についての基礎知識を学ぶ。

#### III. 授業の進め方

- ・ 美術室で行う。参考作品(教員の作例、過去の生徒作品、作家の作品)の鑑賞を通して課題を理解し、そこから自分のイメージを膨らませる。
- ・ 頭の中で考えたことを紙の上にスケッチしてイメージと現実のギャップを感じ取り、足りない部分を根気よく補いながら自分のイメージに近づくよう制作する。
- ・ 道具を使用する作業の場合は安全に注意し、説明に従って作業をする。2学期には「すずかけ祭」で作品展示を行う。

#### IV. 学習上の留意点

- ・ 今後の学習や制作につながるような規則正しい行動をする。自分の考え方や、課題に対する考え方を大切にする。
- ・ 提出物の期限を守る。
- ・ 作業後の後片付けをきちんと行う。個々の材料や道具には記名をして管理する。

#### V. 定期試験

- ・ 定期試験期間には行わず、実技テストを授業時間に行う。

#### VI. 評価の方法

技術的な完成度と制作に対する熱意、限られた条件の中での工夫や表現内容の豊かさ、発展性、計画性、提出期限を守れたかなどを評価の視点とする。また、出席状況や授業態度も重視する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	模写 ・名画の模写  ・印象派の画家について学び、絵の具で模写する。  工芸 ・スクラッチ皿  ・皿に愛着のあるデザインを考えスクラッチ制作する。	作品提出  授業態度  実技テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の道具の使い方と技法を理解する。</li> <li>・印象派の作品の特徴を理解する。</li> <li>・自分独自の表現方法を工夫し積極的に課題に取り組む。</li> <li>・すずかけ祭で展示する。</li> <li>・印象派の画家の歴史を学び理解する。</li> <li>・スクラッチ皿制作の正しい手順と道具の使用方法を理解する。</li> <li>・</li> </ul>
	5			
	6			
	7			
二学期	9	彫刻 ・木彫鏡  ・木工の彫り方の基本を学び取り入れて制作する。  デザイン ・ポスター制作  ・企業のコンクールに出品する作品を制作。	作品提出  授業態度  実技テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の素材を十分に生かした作品づくりができる。</li> <li>・作る喜びと鑑賞する楽しさを学ぶ。</li> <li>・自らのイメージに忠実に、根気よく表現できる。</li> <li>・彫刻刀の正しい使い方、彫り方を理解する。</li> <li>・完成をイメージし、計画的に作業を進めることができる。</li> <li>・与えられたテーマに沿って、資格伝達できるポスターを制作。</li> </ul>
	10			
	11			
	12			
三学期	1	鉛筆デッサン ・ものの形の捉え方、質感、量感など踏まえて 与えられたモチーフを描写する。	作品提出  授業態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆の種類と消し具について理解を深める。</li> <li>・対象をよく観察し表現することができる。</li> </ul>
	2			
	3			

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります

